

英語科学習指導案

日 時 平成26年10月8日(水) 6校時
場 所 宿戸中学校 3年生教室
学 級 3年生(男子11名 女子9名 計20名)
指導者 教諭 深澤 伸

1 単元名 PROGRAM 7 *What Is the Most Important Thing to You?* (SUNSHINE ENGLISH COURSE III)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、本当に意味のある国際協力を目指して、世界中でボランティア活動を行うことで途上国を支援し、また途上国のために働く意欲のある人材育成への取組を続ける国際協力師、山本敏晴氏の活動について書かれている。生徒は其中で、山本氏が取り組んでいる「お絵かきイベント」を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を知ることになる。自分の国に夢や希望を持って生きる子どもたちの描いた絵に込められた力強いメッセージを通して、本当の国際協力とは何か、また、私たち一人ひとりに何ができるのかを考えさせることをねらいとしている教材である。

本単元における基礎的・基本的な内容は、関係代名詞(主格)の **who**、**which**、**that** を用いて、「人」や「もの」について、よりくわしく説明することである。これらの表現は、山本氏が行っているボランティア活動について感じたことや、自分たちにできることなどを表現するのに有用な表現である。

(2) 生徒観

生徒は授業に対する姿勢が積極的で、発言も多く、また他を尊重し、協力しながらペア学習や言語活動を行っている。しかし、中には、基本的な語彙や文法事項に関する理解が十分といえない生徒も見られる。そのような生徒が意欲を失うことがないように、授業の中では、理解しやすい場面設定を行ったり、重要文の例を具体的に示すなどの配慮をしたりして、視覚に訴えた提示方法に努めてきた。また、英語が苦手な生徒が、教え合い学習の中で学習する雰囲気を楽しみながら活動できるよう、普段からペア学習を中心とした活動を取り入れ、既習事項の復習を帯活動として行ってきた。

英語を「読む」活動に関して、各種調査結果では、長文を読み取り質問に答えることが課題である。よって、生徒が意欲を持って活動できるように、辞書の活用や学習形態、生徒個々のレベルに合わせた問いを準備するなどの工夫を行いたい。

(3) 指導観

本単元で扱う文法事項は、関係代名詞(主格)の **who**、**which**、**that** を使った文である。既習の後置修飾を想起させながら、また、分かりやすい場面設定や視覚に訴える教材を用い、

語順やきまりなどに注意させながら指導をしたい。また、単語の取り扱いについては、文を構成する一単位というような、生徒にとって複雑な説明をできるだけ避け、場面に応じて「フレーズ」、または「文」という一つのまとまりとして生徒に示しながら、英語を積極的に使用していきこうとする意欲の喚起と、実践的コミュニケーション能力の向上を図りたい。更に、単元のまとめでは生徒に、意見文について考えさせ、関係代名詞だけでなく、接続詞や助動詞などの既習事項を総動員して、まとまりのある文章を書かせたい。

3 単元の目標

(1) 指導目標

- ・ 山本氏の活動に関する英文を読み、概要や要点をつかむことができる。
- ・ 山本氏の活動を読んで考えたことを、語と語・文と文のつながりに注意して、50語程度の英文でまとめることができる。

(2) 評価規準

[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

- ・ 感想や意見の記述・発表に積極的に取り組んでいる。

[外国語表現の能力]

- ・ 単元を通して考えたこと、感じたことを英語で書くことができる。

[外国語理解の能力]

- ・ 様々な関係代名詞の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 本文のあらすじを正確に読み取り、自分の考えを持つことができる。

[言語や文化についての知識・理解]

- ・ 様々な関係代名詞の構造を理解し、説明できる。

4 単元の指導・評価計画

時	学習内容	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	関係代名詞 who (主格) の用法について理解する。		英語でクイズをつくることができる。	関係代名詞 who (主格) を理解し、表現できる。	関係代名詞 who (主格) を理解し、説明できる。
2	関係代名詞 which (主格) の用法について理解する。		英語でクイズをつくることができる。	関係代名詞 which (主格) を理解し、表現できる。	関係代名詞 which (主格) を理解し、説明できる。
3	関係代名詞 that (主格) の用法について理解する。			関係代名詞 that (主格) を理解し、表現できる。	関係代名詞 that (主格) を理解し、説明できる。
4	山本氏が考える途上国への支援とは何かを考える。			あらすじを正確に読み取り、途上国への支援について自分の考えを持つ。	
5	山本氏が行っている、お本絵かきイベントの意味について、考える。			あらすじを正確に読み取り、自分の考えを持つことができる。	

6	お絵かきプロジェクトの意図を読み取り、感想を述べる。			あらすじを正確に読み取り、自分の考えを持つことができる。	
7	単元を通して考えたことを、英語で表現する。	感想や意見の記述に積極的に取り組んでいる。	単元を通して考えたことを英語で書くことができる。		

5 本時について

(1) 目標

- ・ 本文のあらすじを、正確に読み取ることができる。
- ・ 読んだ内容に対して、自分の考えや意見を持つことができる。 [外国語理解の能力]

(2) 評価規準

	評価規準	支援を要する生徒への手立て
外国語理解の能力	本文の内容を読み取り、質問に答えることができる。	机間指導による個別支援や、ペア活動での教え合いを行わせる。
	読んだ内容に対して、自分の考えや意見を持つことができる。	キーワードを与えて、内容を読み取れるようにする。

(3) 指導の構想（校内研究との関わり）

①□学習意欲を喚起し継続させる指導方法について

- ・ 導入の活動で、読み取りに使える表現をペアで確認できるようにする。
- ・ 単元及び本時の学習内容を生徒に示すことで、目的を持って活動に取り組みせる。
- ・ 単元を通して扱う重要表現については、家庭学習で確認させ、スムーズに活動ができるようにする。

②□活動について

- ・ 本文を読むにあたり、まずは絵の内容について考えさせる。個人・ペアで予想した上で、教師と問答し、絵から伝わるメッセージを把握する。（「わかる」活動の工夫）
- ・ 本文の内容理解について、指で示させたり下線を引かせたりし、視覚的に活動させ、自分たちが考えた内容と比較させる。（「できる」活動の工夫）

③□一人ひとりの見取りについて

- ・ 単元を通じた評価カードを毎時間記入させることで、生徒の言葉から理解度をはかる資料とする。
- ・ ワークシートに記入させた（英）作文を回収し、一人ひとりの理解度を見取る。

(4) 展 開

	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意事項 (・) ユニバーサルデザイン (◎) 評価 (□)
導 入 5 分	1 あいさつ 2 Q&A 3 学習課題の設定	1 元気にあいさつをする。 2 ペアで元気に活動する。 3 本時の課題を確認する。	◎ 本時の流れを示す。 ・ 英語学習の雰囲気を作る。 ・ 既習事項の復習をさせる。 ◎ 前時の学習を想起させるため、カードを提示する。
山本さんは、なぜ子どもたちに絵を描いてもらっているのだろう。			
展 開 35 分	4 内容理解 5 音読	4 本文の内容理解をする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"><p style="text-align: center;">「わかる」</p><ul style="list-style-type: none">・ 2人の子どもが描いた絵が表すものを、個人及びペアで考え、交流する。・ 教師との問答で、絵に込められたメッセージの読み取りをする。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"><p style="text-align: center;">「できる」</p><ul style="list-style-type: none">・ 教師の話す日本語に該当する箇所を指で示す。・ 教師の話す日本語に該当する箇所の英文を読む。・ 教師の質問の答えに該当する箇所に下線を引く。</div> 5 教師の指定した回数、音読をする。 ・ まとめに使えるようなキーワードに、線を引く。	理 絵の内容を読み取り、意欲的に質問に答えている ・ 絵に込められたメッセージを考えさせることで、本文を読むことへの意味づけを行う。 ・ 本文の内容を読み取ることで、自分たちが立てた予想と比較させる。 ・ 机間指導で声量や発音を確認する。
ま と め 10 分	6 まとめ 7 自己評価 8 あいさつ	6 「お絵かきイベント」の意義について考える。 ・ 数人の生徒が発表し、交流する。 (例)「様々な国の子どもに絵を描かせることで、その国が抱える問題や考え方を、世界中の人が交流できるようにするため。」 (ex) “I think that it is useful for us to know the problem in many countries.” 7 本時で学んだことを再確認し、次時の予告をする。 ・ 自己評価を記入する。 ・ 家庭学習の確認をする。 8 元気にあいさつをする。	理 「お絵かきイベント」の意義について考えたことを、自分なりにまとめている。 ◎ ワークシートに自己評価をさせる。(シート考察)

教科 英語 (3 年) 単元名 PROGRAM 7 What is the Most Important Thing to You?

単元の指導計画

単元の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・山本氏の活動に関する英文を読み、概要や要点をつかむことができる。 ・山本氏の活動を読んで考えたことを、語と語・文と文のつながりに注意して、50語程度の英文でまとめることができる。 		
時	めざすゴール像 「～できる」	「わかる」活動の工夫	「できる」活動の工夫	一人ひとりを見取る方法
1	関係代名詞 who を使って、クイズをつくることができる。	関係代名詞 who を使い、様々な絵を見て、英語で説明させる。	英語でクイズをつくり、互いに出題させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿（発表） ・活動の観察 ・評価シート
2	関係代名詞 which を使って、クイズをつくることができる。	関係代名詞 which を使い、様々な絵を見て、英語で説明させる。	英語でクイズをつくり、互いに出題させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿（発表） ・活動の観察 ・評価シート
3	関係代名詞 that を使って。洋野の魅力について紹介することができる。	関係代名詞 that を使い、様々な絵を見て、英語で説明させる。	洋野の魅力について、自分の考えを英語で発表させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による個別確認 ・原稿（発表） ・評価シート
4	山本氏が考える途上国への支援とは何かを、読み取ることができる。	山本氏が国際協力へ関心を持つきっかけとなった背景について考えさせ、発表させる。	教師の質問の答えに該当する箇所を指で示させたり、下線を引かせたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による個別確認 ・評価シート
5 本時	なぜ山本氏が子どもたちに絵を描いてもらうのか、考えることができる。	子どもたちが描いた絵が表す意味を考えさせ、発表させる。	教師の質問の答えに該当する箇所を指で示させたり、下線を引かせたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による個別確認 ・評価シート
6	山本氏が行っている「お絵かきイベント」の意図を読み取ることができる。	山本氏の活動のねらいを読み取り、英語で問答させる。	教師の質問の答えに該当する箇所を指で示させたり、下線を引かせたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による個別確認 ・評価シート
7	単元を通して感じたこと、考えたことを英語で書くことができる。	山本氏の活動や途上国の現状を再確認し、英語で問答させる。	単元を通して、自分が考えたことや感じたことを英語で書かせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による個別確認 ・原稿（発表） ・評価シート